

平成30年度 青森県県土整備部優良工事表彰(公表)

工事名 八戸野辺地線道路改良工事
施工箇所 三沢市字猫又地内
受注者名(所在地) (有)中村建設 (青森県三沢市本町一丁目55-5)
主任(監理)技術者 内沢 央教

優良技術者表彰

工事概要	請負額	113,324,400	円
工期 平成29年8月9日～平成30年3月6日	評定点	86	点
完成年月日 平成30年2月5日	代表者	代表取締役 中村 陽平	
概要	推薦公所	上北地域県民局 地域整備部	
施工数量 L=605.0m	総括監督員	柴田 司	
掘削 V=3,100m ³	主任監督員	鈴木 孝	
掘削(ICT) V=6,200m ³	監督員	對馬 央人	
サーチャージ盛土 V=10,800m ³			
サンドマット A=7,490m ³			
地盤改良工 V=9,300m ³			

推薦理由

本工事は、主要地方道八戸野辺地線のバイパス整備として、土工及び地盤改良工を施工したものである。
 当該現場は、掘削工にICT技術(バックホウマシンガイダンス)を導入し、従来の丁張掛けなどの作業及び機械稼働時の手元作業員が削減されたほか、事故リスク軽減にもつながるなど、新技術の活用により、省力化効果や安全管理の向上が認められた。また、県で推進するICT技術活用に係る現場見学会会場として協力し、県内建設業や県職員などにおけるICT技術普及に大きく貢献した。
 このほかに、自動追尾・自動視準機能付きTS(トータルステーション)を用いた動態観測及び軟弱地盤対策工管理システムを導入することで、盛土挙動の把握向上や、監視カメラ搭載型機械の導入で、オペレーターの死角改善を図るなど、最新技術を積極的に活用していた。
 以上のように、新技術活用や安全管理、県の重点施策への協力などへの取り組みが非常に評価でき、他の模範となる優良工事であるため、推薦するものである。

工事写真等

【ICT技術の活用(MGバックホウ)】【県主催現場見学会への協力】

【完成状況】



【自動TSを用いた動態観測等】【バックモニターを用いた安全管理】



受賞コメント

この度は、栄誉ある県土整備部優良工事表彰を賜り、誠に有難う御座います。受賞にあたり、御指導頂きました監督職員の皆様、また関係者の皆様には心から感謝を申し上げます。

将来の社会情勢を見据え、生産性向上に寄与する新技術に真摯に向き合い、弊社経営理念である「地域の発展」に貢献できるよう技術研鑽に精進して参ります。今後とも何卒御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



代表取締役
中村 陽平



主任技術者
内沢 央教